

あったかウェルねっと



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク  
あったかウェルねっとニュース 第6号

2006年4月25日発行

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

## あったかウェルねっとの5年間 2001年→2005年

埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修を修了した県内の推進員が手をつなぎ、2001年にネットワークを組みました。その後、愛称を「あったかウェルねっと」と命名し、「福祉」を「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせと捉えて学び合い、今日の活動に至っています。

.....彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク これまでの活動.....

### あったかウェルねっと誕生

2000年9月、埼玉県社会福祉協議会の養成研修後「福祉教育・ボランティア学習推進員」第1期生が認定されました。

そして、各地のさまざまな立場の推進員から情報交換や研修の場や連携が必要だとの声が上がりました。その声を受けて、翌年の第2期生にも呼びかけ、県社協および原田正樹先生(現日本福祉大学助教授)から多大な助言や支援をいただき、「彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク」が設立されました。

愛称「あったかウェルねっと」は、県内でさまざまな立場の人たちが出会い、交流・学習しています。豊かな福祉観を育て合いながら、福祉教育を推進していくコツを見つけ、ねっとの輪が広がるよう活動しています。

あったかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉) Well Being(幸福)のWell(大切にという意味)です。私たちのネット愛称には、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたいとの願いが込められています。

### あったかウェルねっと活動-①

～ みんなの力を福祉教育へ ～



私たち住民が、自ら「福祉」に触れ、体験的に学習することで「ノーマライゼーション社会」を具現

第1回:車イスダンス

化することを目的に、**県民対象の研修会**を開催してきました!

第1回...「自分が地域が好きになる福祉交流セミナー2002」

第2回...「地域をつなぐ あったかはあと 福祉交流セミナー2003」

第3回...「あったかはあと 彩の国から発信!2004」

詳細はホームページを参照ください。



第2回:サウンドテーブルテニス

第3回:まごころ国体 全障スポーツ大会



2005年は共催で...

「地域福祉：住民参加の手法に関する研修」  
(主催は県社協)

### あったかウェルねっと活動-②

～ 学校で地域で福祉教育を学びあう～

推進員が、それぞれの持ち味を活かしつつ一定のレベルで講師役ができるよう、研修プログラムをつくり、**推進員対象の研修会**を行いました。研修会のテーマの例を以下に挙げます。

...【検証】体験学習の落とし穴に陥っていない?

... 学習援助者トレーニングのためのインストラクター講座

... 心病む人への理解

... 福祉教育とユニバーサルデザイン

他団体からも数々の講師依頼があり、各地で講

演を行いました。以下はプログラムの一例です。  
学習テーマ「一人ひとり違う、みんなみんな同じ」

- (1) ビデオ鑑賞
- (2) 講話「人って、まちって何だろう？」
- (3) ワークショップ「やわらか あたま、あったか はあと」
- (4) 発表&振り返り

学習テーマ「コーディネートの基本」

- (1) ワークショップ「地域ニーズをつなげるプログラムを作成しよう」
- (2) ポスターセッション「自分だったらこんなことに協力できる」
- (3) 発表&振り返り

### 活動-③ 学民協働プロジェクト

～福祉・ボランティア教育～

「共に生きる社会の一員として、  
今自分たちにできること」



平成17年度、埼玉県教育委員会の「学校と民間の協同プラン開発事業」は、あったかウェルねっとにとって大事業となりました。1期から6期の推進員たちで協力しあった初めての事業でもあります。

昨年の深谷市立南中学校ホームページに成果が掲載されていたので、一部ご紹介します。

9月からの学・民ジョイントプロジェクトでの取組が、生徒達の心の成長に計り知れないほどの影響を与え、その素直な成長の姿が見る者に「感動」という温かな思いを与えてくれたように思います。



## 5/27総会のお知らせ

みなさんのご参加をよろしくお願いたします。

平成18年度ねっと総会&情報交換会&研修会を下記の内容にて開催します。

今回の研修では、学民ジョイントプロジェクトを振り返り、学校側と民間のねらいを達成するコツなど、「協働実践について」知恵を出し合い学びましょう。

**\*お願い：出欠は5/15(月)までに事務局へ**

#### ...研修会タイトル...

「学校とウェルねっとの協働実践による成果と課題」～中学1年生2学期の総合学習での福祉・ボランティア教育～

#### .....講師.....

前深谷市立南中学校校長 久木健志氏  
(現深谷市教育委員会)  
深谷市立南中学校教諭  
(総合的な学習の時間担当)

### 平成18年度ねっと総会&研修会

日時：平成18年5月27日(土)  
10:00～16:00  
場所：彩の国すこやかプラザ2階  
研修室1・2・3  
内容：10:00～11:15  
平成18年度ねっと総会  
11:30～13:00  
情報交換会(軽食を用意します)  
13:10～15:50  
研修会(休憩を含む)  
15:50～16:00事務連絡  
対象：推進員(ねっと年会費1,000円)  
賛助会員(年会費一口500円から)

## 推進員、各地の情報!

ありがとう、さようなら!うらら!!  
渡辺 宏(神川町推進員)

みなさんこんにちは! 視覚障害者の渡辺です。お元気ですか!  
みなさんに報告があります。じつは・・・

1月29日にうららとお別れをしてみました。神奈川県は江ノ島の近くにお住まいのボランティアさんのお宅へ家族4人で電車に乗って連れて行きました。



うららの最後のお仕事は盲導犬として自分自身を次のご主人様のところまで運ぶことでした。とてもさみしいですが、悲しくはありません。だって、新しい友達が3頭もいるご家庭で毎日海辺を散歩して暮らしてゆけるのですから……。

うららとの生活スタート時には、まだ保育園の年中と小学1年生だった息子達もこの春には、高1と中2に成長してくれました。それと平行してうららも歳を重ねて参りましたが、10歳の誕生日を機にお別れを決意した次第です。

次のご主人様(退役ボランティアさん)は、うららを1歳まで育ててくださったパピーウォーカーさんが現在では退役犬ボランティアをされており既に3頭のラブがゆったりと暮らしておりました。うち1頭はうららとは異母姉妹だそうです。

毎日、子犬の頃パパと歩いた江ノ島近くの砂浜を散歩コースに仲間と楽しく過ごしゆくことでしょう。私は当分の間、2頭目は登録しないで生活して行こうと思います。またいつの日か盲導犬との共同生活をおくる日が来るかもしれませんが、それまでは人の中で自分の世界を広げてゆきたいと考えております。

みなさん、『盲導犬うらら』がいたことを忘れないであげてください。ありがとう!8年間本当にありがとう!うらら!

4/23「ういず・共に」発足  
滝 寿美子(鶴ヶ島市推進員)

あったかウェルねっとの仲間たちが、地元で推進員のボランティア・市民活動団体を立ち上げました。代表・滝 寿美子(鶴ヶ島市)さんの投稿をご紹介します。

日頃、市内の小中学校で福祉教育体験学習の支援を行って行く中で、推進員同士が自ら率先して地域での幅広い活動を推進

していききたいと、**研修・地域・学校の3プロジェクト**を柱に、ボランティア・市民活動団体として「ういず・共に」を立ち上げることになりました。

豊かな福祉のまちづくりに向けて、共に学び合いながら、気負わず自分らしく住民の一員として活動していきたい思いです。

今後活動していく上で、あったかウェルねっとの皆様からの情報やご意見をお待ちしていますのでよろしくお祈りします。

連絡先：鶴ヶ島市社会福祉協議会

メール：t\_chiiki@tsurusha.or.jp

FAX：049-287-0557

## 事務局より

今年も様々な行事が予定されています。

### 7期推進員養成研修に協力

県社協主催の「埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員養成講座」(次ページ参照)が行われます。

あったかウェルねっとも研修のお手伝いをしますので、みなさんのご協力をお願いします。

### 学民協働プロジェクト2年目

平成17年度に続いて、今年度も埼玉県より「学民ジョイントプロジェクト」の委託を受けました。

みなさんのご支援をよろしくお祈りします。  
取り組み分野：福祉・ボランティア教育  
学校：深谷市立南中学校  
(1年生6クラス 2学期 総合的な学習の時間)

### 6月から、毎月第2土曜日 世話人会を開催します

場所：彩の国すこやかプラザ2階

県社協の作業室

時間：13:00~16:00

内容：スキルアップ学習(約1時間)

\*6/10は「知的障害への理解」  
情報交換

必要に応じた議題

会員は誰でも、「ネット世話人会に参加」できます！最新情報が盛りだくさんです。

~~~~~

11/25・26 埼玉県で「日本福祉教育・ボランティア学習学会」が開催されます！

(詳細は次号でお知らせします。)

**県社協より情報いろいろ**

**推進員養成研修がバージョンアップします**

皆様に受講していただいた埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修は、昨年度実施した「埼玉県福祉教育・ボランティア学習関連事業検討委員会(委員長：原田正樹氏)」の提言を受け、今年度(H18年度)より、以下のように実施方法を変更します。詳細なカリキュラム等は、現在作成中ですので、決まり次第皆様にお知らせいたします。

研修日程を増やし、専門性を高めます。

これまでは5日間の研修でしたが、7日間に拡充します。

研修後の活動内容にあわせ、受講科目が選択可能に。

7日間の研修全てに参加できない人でも、自分が学びたい内容に応じて、「福祉教育の企画やプログラム」の作成、実践を中心とするコースと、「地域において福祉教育を推進するためのスキル」を身に付けるコースの2コースから受講するコースを選択できるようになります。本研修に関する市町村社協の役割を整理します。

研修参加に関する要件をコースごとに見直すとともに、市町村社協の役割についても整理をしていきます。

**フォローアップ研修報告**

去る2月18日(土)さいたま市の東通ビルにて「埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員フォローアップ研修」を実施しました。当日は、参加40名の推進員が協力しあう中で、大変充実した研修を行うことができました。

午前中は「地域の多様性を学ぶ - 学・民ジョイン

トプロジェクト大規模体験学習より - 」と題し、生徒に課題発見の手法として行った体験学習の一部である、聴覚障害、視覚障害(ガイドヘルプ、サウンドテーパーテニス、音声パソコン、点字、弱視)、車いす(介助、スラローム、生活グッズ、車いすフライングディスク)などについて、参加者のかたがたに、講師役と体験を交互に学習していただきました。

昼食での情報交換をはさみ、午後は推進員の矢島さん(車いす友の会)の進行で、「推進員として活動する上での課題整理」をワークショップ形式でグループ毎にまとめ、発表しあいました。

その課題を踏まえ、「これからの福祉教育」について、日本福祉大学の原田正樹助教授に御講義をいただきました。講義では、全国の福祉教育実践の事例から課題を理解し、地域において住民が共に学びあう“地域福祉を推進する福祉教育”が、これからは重要であることを御教示いただきました。

**4月から名称変更**

埼玉県ボランティア・市民活動センター

埼玉県ボランティアセンターが「埼玉県ボランティア・市民活動センター」に生まれ変わりました。福祉分野への支援や協働をさらに進めながら、これまで関わりの少なかった様々な分野とも連携していきます。

**あったかウェルねっとホームページ**

アドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

**編集後記**

今年度は、埼玉県社協の福祉教育・ボランティア学習推進員関連の担当が石田みち子さんと高木さんのお二人になりました。心強いですね。今年度のねっとニュースもますます充実させていきたいものです。各地の推進員情報もお待ちしています。

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

(愛称：あったかウェルねっと)事務局

〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田4-7-12-504

横田八枝子 (TEL&FAX: 049-281-3161)

(e-mail: y-yae@xf7.so-net.ne.jp)

協力：埼玉県社会福祉協議会 埼玉県ボランティア市民活動センター

(TEL: 048-822-1435 FAX: 048-822-1449)

担当：高木義昭(takagi@fukushi-saitama.or.jp)

石田みち子(ishida@fukushi-saitama.or.jp)

編集：あったかウェルねっと世話人会(情報担当)